



# 衛生機能材料の各種特性評価

住環境や生活用品等の部材を対象として抗菌・抗カビ・防汚・防臭等の各種特性を評価いたします。

## 試験方法

私達を取り巻く生活環境には、抗菌性・抗カビ性・防汚性・防臭性等の様々な衛生機能を付与した材料（ガラス、布、陶器、鋼板、プラスチック）が広く普及しています。最近では、これらの機能発現に「光触媒反応」を応用した技術なども使われています。

このような機能が付与された材料表面には、有機物の分解や微生物・カビ類の付着を防止する機能、或いは親水化現象などが具備されています。ここでは、これらの衛生機能を多角的に評価する試験方法をご提案致します。

### ● 抗菌・抗カビ性試験

主にJIS R 1702、JIS R 1705等を基本として様々な製品や材料、例えばプラスチックやガラス、ゴム、鋼板、布、粉末等の性能評価を行っております。

試験には、Escherichia coli NBRC 3972(大腸菌)・Staphylococcus aureus subsp.aureus NBRC 12732(黄色ブドウ球菌)・Klebsiella pneumoniae)・Aspergillus niger(クロコウジカビ)・Penicillium pinophilumなどを用います。

### ● 防汚・防臭性試験

当社がご提案する防汚・防臭性試験では、

①セルフクリーニング効果を評価する「親水性評価試験(JIS R 1703-1)」

②「メチレンブルーによる湿式分解性能試験(JIS R 1703-2)」

等の基本的な評価の他に、

③油脂などの有機物を付着させた表面における有機物の分解状況をFT-IRで評価する方法

④テドラバックにトルエンなどの悪臭成分とサンプルを封入し、テドラバック内の気体を吸着管に回収し、悪臭成分の変化をTD(Thermal Desorption)-GC/MSで分析する方法

等、材料に合わせた多様な評価方法をご提案致します。

